



カ

になりまっ

鳥取県関西本部

満喫！ 新緑の大山を訪ねる旅



▲「大山の緑に心を洗われるようでした」と皆さん、大満足

6月5・6日の大山夏山開き祭にあわせて「大阪鳥取県人会・故郷訪問バスツアー」の28名が大山町を訪問しました。一行は御来屋漁村センターで森田町長の出迎えを受けたあと、漁師料理に舌つつみ。新鮮で豪快な魚介の舟盛りに歓声があがりました。

重要文化財「門脇家住宅」では、当主の門脇卓爾さんから住宅や掛け軸など、ひとつひとつ丁寧に説明を受けました。4月に新しくオープンした「鳥取

県立むきばんだ史跡公園」では、熟した桑の実を見つけ、懐かしい味に再会する場面も。大山寺の圓流院では、鬼太郎など水木しげるの作品に登場する妖怪108態の天井画を見学。本堂

祭に出かけ、大山寺参道を照らす幻想的な2,000本のたいまつ行列を見物して初日を終えました。ツアー客の中には、一緒に歩いてみたいとたいまつ行



▲門脇家住宅を見学

列に参加される方もあり、大満足の様子でした。

次の日の早朝は、大神山神社奥の宮まで散歩をし、金門から朝日を浴びる北壁に大感激。そして、ドラマ「ゲゲゲの女房」の放映でさらに活気づく境港市方面をまわって帰路に着きました。両日とも天気恵まれ、新緑をたっぷり感じながら心に残る旅になりました。

森田町長が

鳥取学出前講座に

大山の

恵みを活かした
まちづくりを

広報だいせん5月号でも紹介

しましたが、5月27・28日の「鳥取学出前講座」に森田町長を招き講演を行いました。森田町長は、鳥取県関西本部交流室を会場に「大山の恵みを活かしたまちづくり」と題して、受講者に豊かな自然、歴史・文化など写真を交えて紹介しました。

また地元産の農産物、和牛、魚介類など豊富な食材をPRしたり、これら特産物の販路開拓や商品開発に取り組む「大山恵みの里公社」について説明しました。そして、農業の基礎となる土づくりを例に、大山の恵み

講演する森田町長



を活かしたまちづくりについて熱く展望を語りました。

講演終了後の交流会では、大山ピーナツを味わいながら受講者と意見交換を行いました。受講者からは「大山の特産物が関西で買えるようにしてほしい」という意見も出ていました。

関西本部では、鳥取県内での就職を目指している学生や鳥取県内IJUターンを希望されている方へ、情報提供などの支援を行っています。

まずは鳥取県関西本部のメルマガに登録をお願いします。毎週木曜日に関西で行われる就職相談会や各種イベントなどの情報を発信しています。

◆問い合わせ先

鳥取県関西本部（入江雅史）
☎06・6341・3955

◆メルマガ登録方法はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/kansaioffice/>

登録お待ち
しています！

